

新チャレンジ章「サイバーセキュリティヒーロー」

実施の手引き

I. 新チャレンジ章

・はじめに

カブスカウトの選択課目であるチャレンジ章は、「社会生活」、「自然と野外活動」など5つの分野で全40種類が設定されています。カブ隊に入隊、上進した後、活動や生活の中で進級課目に取り組みつつ、自分の興味があるものや得意なものから自由に挑戦することができるのが特徴です。隊の指導者やご家族一緒になって取り組むことで、生活の幅を広げ、個性を伸ばし、自信を深めることにつながります。

そのチャレンジ章に、企業とのタイアップによるバッジが数量限定で加わることになりました。これは、通常のチャレンジ章課目と同様に、家庭や組、隊での活動において細目に挑戦し、サインしてもらうことでバッジを制服やタスキに着用できます。この新チャレンジ章は、カブブック「チャレンジ章」には載っていません。ワークブックや本紙「実施の手引き」に、取得するための細目や活動のヒントを掲載していきます。

・サイバーセキュリティヒーローとは

仮想（デジタル）と現実（リアル）が混ざり合う、今の子どもたちが主役となる社会がやってきます。インターネットには楽しさや便利さもあれば、危険なことや守らないといけないことを理解することが重要です。



世界中の子どもたちに「ネットリテラシー」を学ぶためのプログラムを提供するパロアルトネットワークス社とともに、これからの社会を生きるために必要な術を体験しましょう。

デジタル化する生活を守るための教育が重要です。子どもたちにデジタル社会での責任と正しいふるまいを理解していただきたいと思います。

Ⅱ. プログラムの導入

・年間および月間プログラムへ

プログラムとして実施するため、新チャレンジ章の取得を年間プログラムへ反映、また月間プログラムへ落とし込む作業が必要になります。

類似するテーマの隊活動または組での活動として、また特別隊集会としての取り組みもひとつの方法ですが、家庭で保護者と一緒になって課題（細目）に取り組むことも可能です。プログラムの取り組み方法は、隊として決めてください。

・ワークブックの活用方法

サイバーセキュリティヒーローでは、インターネットを切り口に、自分の身を守ること、相手を思いやる気持ちを考えるきっかけを作ります。

普段の隊や団の活動を通じて、パスワードを守るゲームに置き換えることもできるため、各プログラムの空き時間に取り組むことができるゲームを用意しました。

このプログラムでは、インターネットが当たり前になった今こそ気をつけることを確認し、仲間同士や親子での新たな発見につなげることを目標としています。



【プログラムと細目の関連性】

1. 次の用語を調べる。(インターネット、アプリ、セキュリティ、SNS、ダウンロード)

⇒ゲームの中にも出てくる言葉を、自分できちんと調べてみましょう。

2. 手紙やチャットで嫌なことを書かれたことを考え、その気持ちを発表する。

3. 10年後のコンピューターの世界に残っているもの、なくなるものを想像する。

⇒相手が見えない中で、嫌なことをされたときの不安の大きさを共有することで相手を思いやる気持ちを育みます。一方たくさんの便利な点を話し合い、上手に活かすことも子どもたちにとって大切なスキルです。

4. インターネットの便利な点、危ない点を話し合い、より良い使い方を発表する。

⇒ネット通販とパスワード管理、SNSのやり取りと既読スルーなど、良い点や悪い点が表裏一体であることを確認して、上手に活用しましょう。

・ワークブックへのサイン

細目やプログラムに挑戦したら、ワークブックへサインをします。組や隊の集会であれば隊指導者やデンリーダーが、自宅で細目に挑戦したら、保護者の方が日付と名前を記入します。

一つひとつの細目がスカウトのスキルアップにつながっていますので、頑張りをほめてあげてください。



・組集会での取り組み

自宅で調べた意味を発表したり、嫌なことを言われたときの対処について考えたりと、インターネットの怖さ・セキュリティの大切さについて考えてみましょう。

・家庭での取り組み

もっともインターネットに触れる機会が多いのがご家庭です。普段使っている時間の 30 分でも良いので、親子でインターネットについて調べてみたり、便利さや怖さについて話をきいたり、話題にしてみましょう。

Ⅲ. バッジの授与

・授与のタイミング

スカウトがすべての細目を履修し、「サイバーセキュリティヒーロー宣言」をワークブックに書き入れたら、隊長の承認によりチャレンジは完了します。

バッジは、手元にあるからとその場で配布せず、通常のチャレンジ章と同じく、隊活動や団行事でのセレモニーや各種記章授与式など、他部門を含めたスカウトや保護者の方が多くいる場において、取り組みを称えて授与してあげてください。

授与するタイミングにおいて、この新チャレンジ章に挑戦することをひとつのきっかけとして、他のチャレンジ章やひとつ上の進級を目指して、家庭や組・隊集会での活動につなげられるよう、隊指導者からの声かけをお願いします。

・制服への着用

企業協力によりバッジ作成をしているため、他とカラーデザインが異なりますが、これはチャレンジ章の一つです。初めて取得するスカウトは制服右袖の組別章の下に、5個以上取得しているスカウトはタスキに着用することができます。他のバッジと同様に、ひとつの取り組みの成果として着用してください。

サイバーセキュリティヒーローを着用するという事は、インターネット社会を突き進むことのできるスカウトの証です。ネットの怖さから自分自身の身を守り、相手の立場になって行動することができるスカウトへの成長の機会としてください。

・使ったワークブックは

サイバーセキュリティヒーロー宣言を書き入れたワークブックは、スカウトの取り組みを示す大切な記録です。ボーイスカウトへと上進してからも自分自身で書いた「宣言」を振り返るためにも、カブブック「チャレンジ章」に貼ったり、挟み込んだりと大切に保管するようにご指導ください。

IV. 記録と報告

・活動の記録と日本連盟への報告

活動の様子を、ぜひ写真を含めてお知らせください。スマートフォンに付属するカメラ機能の画素数で十分です。Webサイトに記載する活動報告の案内に従い、以下の項目と活動の様子が分かる写真を添えて、日本連盟までご報告ください。

注意：団内で撮影した写真は、日本連盟および協力企業がプログラム開発および広報として利用する場合がありますので、団内とご家族の許諾確認をお願いします。

新チャレンジ章は、企業・団体とのタイアップによるものであり、皆様からいただいた報告内容が次年度へのつながりや、新たなテーマへとつながっていきます。

【報告いただく内容】

<必須事項> 所属（県連盟・団） 報告者氏名 実施日時 概要・展開
バッジ取得スカウト数 スカウト宣言

<任意事項> 展開方法 スカウトの気づきや声 指導者の気づきやご意見
活動時の写真（ご家族の許諾確認含む）